

2024年2月13日

富国生命保険相互会社

## 2023年度第3四半期報告

富国生命保険相互会社（社長 米山好映）の2023年度第3四半期  
（2023年4月1日～2023年12月31日）の業績は添付のとおりです。

### [目次]

1. 主要業績	……………	1 頁
2. 資産運用の実績（一般勘定）	……………	3 頁
3. 四半期貸借対照表	……………	6 頁
4. 四半期損益計算書	……………	7 頁
5. 経常利益等の明細（基礎利益）	……………	9 頁
6. ソルベンシー・マージン比率	……………	10 頁
7. 特別勘定の状況	……………	11 頁
8. 保険会社及びその子会社等の状況	……………	12 頁



# 1. 主要業績

## (1) 保有契約高、新契約高及び解約・失効契約高

### ① 保有契約高

(単位：千件、億円、%)

区 分	2022年度末		2023年度 第3四半期会計期間末			
	件 数	金 額	件 数	金 額		
				前年度末比	前年度末比	
個 人 保 険	3,159	221,734	3,145	99.5	218,556	98.6
個 人 年 金 保 険	562	21,722	545	97.1	20,998	96.7
個人保険+個人年金保険	3,722	243,456	3,691	99.2	239,554	98.4
団 体 保 険	—	172,790	—	—	173,986	100.7
団 体 年 金 保 険	—	23,048	—	—	23,278	101.0

(注)1. 個人年金保険については、年金支払開始前契約の年金支払開始時における年金原資、年金支払開始後契約の責任準備金及び個人年金保険に付加されている定期保険特約等の金額を合計したものです。  
2. 団体年金保険については、責任準備金の金額です。

### ② 新契約高

(単位：千件、億円、%)

2022年度 第3四半期累計期間	新契約+転換による純増加		新 契 約	転換による純増加
	件 数	金 額	金 額	金 額
個 人 保 険	256	11,030	8,681	2,349
個 人 年 金 保 険	5	148	154	△ 6
個人保険+個人年金保険	261	11,178	8,835	2,342
団 体 保 険	—	92	92	—
団 体 年 金 保 険	—	164	164	—

2023年度 第3四半期累計期間	新契約+転換による純増加				新 契 約		転換による純増加	
	件 数	前年同期比	金 額	前年同期比	金 額	前年同期比	金 額	
							前年同期比	前年同期比
個 人 保 険	268	104.7	9,238	83.8	8,491	97.8	747	31.8
個 人 年 金 保 険	4	93.0	134	90.5	140	90.6	△ 5	—
個人保険+個人年金保険	272	104.4	9,372	83.8	8,631	97.7	741	31.6
団 体 保 険	—	—	754	814.1	754	814.1	—	—
団 体 年 金 保 険	—	—	0	0.1	0	0.1	—	—

(注)1. 件数は、新契約に転換後契約を加えた数値です。  
2. 新契約+転換による純増加の個人年金保険の金額は、年金支払開始時における年金原資と個人年金保険に付加されている定期保険特約等の金額を合計したものです。  
3. 新契約の団体年金保険の金額は、第1回収入保険料です。

### ③ 解約・失効契約高(個人保険+個人年金保険)

(単位：億円、%)

区 分	2022年度 第3四半期累計期間	2023年度 第3四半期累計期間	
		前年同期比	前年同期比
解 約 ・ 失 効 契 約 高	8,057	8,641	107.2
解 約 ・ 失 効 率	3.27	3.55	0.28

(注)1. 失効後復活契約を失効と相殺せずに算出しています。  
2. 解約・失効率の前年同期比には増減ポイントを記載しています。

## (2) 年換算保険料

### ①保有契約

(単位：億円、%)

区 分	2022年度末	2023年度	
		第3四半期会計期間末	前年度末比
個 人 保 険	2,629	2,618	99.6
個 人 年 金 保 険	1,066	1,046	98.1
合 計	3,695	3,664	99.1
うち医療保障・生前給付保障等	1,164	1,169	100.4

### ②新契約

(単位：億円、%)

区 分	2022年度 第3四半期累計期間	2023年度	
		第3四半期累計期間	前年同期比
個 人 保 険	99	106	107.1
個 人 年 金 保 険	4	3	90.7
合 計	104	110	106.4
うち医療保障・生前給付保障等	55	51	92.6

- (注) 1. 年換算保険料とは、1回あたりの保険料について保険料の支払方法に応じた係数を乗じ、1年あたりの保険料に換算した金額です(一時払契約等は、保険料を保険期間で除した金額)。  
2. 「うち医療保障・生前給付保障等」については、医療保障(入院、手術等)、生前給付保障(介護、生活障害等)、保険料払込免除(障害を事由とするものは除く。特定疾病罹患等を事由とするものを含む)等に該当する部分の年換算保険料を計上しています。  
3. 新契約には、転換による純増加を含んでいます。

## 2. 資産運用の実績（一般勘定）

### (1) 資産の構成

（単位：百万円、％）

区 分	2022年度末		2023年度 第3四半期会計期間末	
	金 額	占 率	金 額	占 率
現預金・コールローン	525,043	7.4	554,900	7.6
買 現 先 勘 定	—	—	—	—
債券貸借取引支払保証金	—	—	—	—
買 入 金 銭 債 権	—	—	—	—
商 品 有 価 証 券	—	—	—	—
金 銭 の 信 託	25,897	0.4	22,981	0.3
有 価 証 券	5,692,461	80.1	5,856,986	80.6
公 社 債	3,003,156	42.3	2,824,042	38.9
株 式	808,831	11.4	911,313	12.5
外 国 証 券	1,705,027	24.0	1,922,630	26.5
公 社 債	1,194,387	16.8	1,364,100	18.8
株 式 等	510,639	7.2	558,530	7.7
そ の 他 の 証 券	175,445	2.5	198,999	2.7
貸 付 金	524,193	7.4	512,741	7.1
保 険 約 款 貸 付	47,088	0.7	45,973	0.6
一 般 貸 付	477,104	6.7	466,768	6.4
不 動 産	242,980	3.4	247,536	3.4
繰 延 税 金 資 産	13,829	0.2	—	—
そ の 他	83,918	1.2	74,024	1.0
貸 倒 引 当 金	△ 826	△ 0.0	△ 784	△ 0.0
合 計	7,107,497	100.0	7,268,387	100.0
う ち 外 貨 建 資 産	1,802,337	25.4	1,930,185	26.6

（注）不動産については土地・建物・建設仮勘定を合計した金額を計上しております。

## (2) 有価証券の時価情報(売買目的有価証券以外)

(単位：百万円)

区 分	2022年度末					2023年度第3四半期会計期間末				
	帳簿価額	時価	差 損 益			帳簿価額	時価	差 損 益		
			差益	差損				差益	差損	
満期保有目的の債券	738,300	808,660	70,360	70,424	64	724,478	782,159	57,680	57,680	—
公 社 債	738,300	808,660	70,360	70,424	64	724,478	782,159	57,680	57,680	—
外 国 公 社 債	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
責任準備金対応債券	—	—	—	—	—	108,408	102,634	△ 5,774	—	5,774
公 社 債	—	—	—	—	—	108,408	102,634	△ 5,774	—	5,774
外 国 公 社 債	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
子会社・関連会社株式	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
そ の 他 有 価 証 券	4,307,988	4,839,472	531,484	676,027	144,543	4,197,697	4,904,421	706,724	857,126	150,401
公 社 債	2,246,987	2,264,856	17,868	99,271	81,402	2,036,126	1,991,155	△ 44,970	82,231	127,201
株 式	352,575	739,891	387,316	389,227	1,911	356,104	842,443	486,338	488,802	2,463
外 国 証 券	1,574,356	1,675,753	101,396	160,374	58,977	1,667,280	1,893,527	226,246	245,361	19,114
公 社 債	1,169,512	1,184,154	14,642	68,369	53,727	1,256,194	1,357,858	101,663	116,668	15,004
株 式 等	404,844	491,598	86,754	92,004	5,250	411,085	535,668	124,583	128,693	4,109
そ の 他 の 証 券	134,069	158,971	24,902	27,153	2,251	138,185	177,295	39,109	40,731	1,622
金 銭 の 信 託	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
買 入 金 銭 債 権	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
譲 渡 性 預 金	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
そ の 他	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合 計	5,046,289	5,648,133	601,844	746,451	144,607	5,030,584	5,789,215	758,631	914,807	156,175
公 社 債	2,985,287	3,073,516	88,228	169,695	81,466	2,869,013	2,875,949	6,935	139,911	132,975
株 式	352,575	739,891	387,316	389,227	1,911	356,104	842,443	486,338	488,802	2,463
外 国 証 券	1,574,356	1,675,753	101,396	160,374	58,977	1,667,280	1,893,527	226,246	245,361	19,114
公 社 債	1,169,512	1,184,154	14,642	68,369	53,727	1,256,194	1,357,858	101,663	116,668	15,004
株 式 等	404,844	491,598	86,754	92,004	5,250	411,085	535,668	124,583	128,693	4,109
そ の 他 の 証 券	134,069	158,971	24,902	27,153	2,251	138,185	177,295	39,109	40,731	1,622
金 銭 の 信 託	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
買 入 金 銭 債 権	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
譲 渡 性 預 金	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
そ の 他	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 1. 本表には、金融商品取引法上の有価証券として取り扱うことが適当と認められるもの等を含んでいます。

2. 市場価格のない株式等および組合等は本表から除いています。

・市場価格のない株式等および組合等の帳簿価額は以下のとおりです。

(単位：百万円)

区 分	2022年度末	2023年度 第3四半期会計期間末
子 会 社 ・ 関 連 会 社 株 式	64,787	64,787
そ の 他 有 価 証 券	36,051	43,769
国 内 株 式	5,709	5,639
外 国 株 式	—	—
そ の 他	30,341	38,129
合 計	100,838	108,556

(注) 内外投資事業組合は、本表の「その他有価証券」のうち「その他」に含めておりますが、内外投資事業組合が保有する「その他有価証券」の評価差額等については、持分相当額(2022年度末3,616百万円、2023年度第3四半期会計期間末4,879百万円)を、貸借対照表価額に含めて計上しています。

## (3) 金銭の信託の時価情報

(単位：百万円)

区 分	2022年度末					2023年度第3四半期会計期間末				
	貸借対照表計上額	時 価	差損益		四半期貸借対照表計上額	時 価	差損益			
			差益	差損			差益	差損		
金 銭 の 信 託	25,897	25,897	—	—	—	22,981	22,981	—	—	

## ・運用目的の金銭の信託

(単位：百万円)

区 分	2022年度末		2023年度第3四半期会計期間末	
	貸借対照表計上額	当期の損益に含まれた評価損益	四半期貸借対照表計上額	当期の損益に含まれた評価損益
運用目的の金銭の信託	24,897	△0	21,981	92

## ・満期保有目的、責任準備金対応、その他の金銭の信託

(単位：百万円)

区 分	2022年度末					2023年度第3四半期会計期間末				
	帳簿価額	時 価	差損益		帳簿価額	時 価	差損益			
			差益	差損			差益	差損		
満期保有目的の金銭の信託	—	—	—	—	—	—	—	—		
責任準備金対応の金銭の信託	—	—	—	—	—	—	—	—		
その他の金銭の信託	—	—	—	—	—	—	—	—		

## (ご参考) 不動産（土地・借地権）の評価額

(単位：百万円)

2022年度末			2023年度第3四半期会計期間末		
貸借対照表計上額	評価額	差損益	貸借対照表計上額	評価額	差損益
149,749	314,057	164,307	149,624	314,705	165,080

(注) 評価額は、鑑定評価額、公示地価等を基準に算定しています。

### 3. 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

期別 科目	2022年度末 要約貸借対照表 (2023年3月31日現在)	2023年度 第3四半期会計期間末 (2023年12月31日現在)
(資産の部)		
現金及び預貯金	402,472	421,268
コールローン	130,000	143,000
金銭の信託	25,897	22,981
有価証券	5,799,182	5,975,671
(うち国債)	(2,395,965)	(2,242,275)
(うち地方債)	(92,958)	(96,543)
(うち社債)	(542,134)	(513,970)
(うち株式)	(836,501)	(943,535)
(うち外国証券)	(1,756,176)	(1,980,346)
貸付金	524,193	512,741
保険約款貸付	47,088	45,973
一般貸付	477,104	466,768
有形固定資産	247,321	251,607
無形固定資産	26,917	25,808
代理店貸	100	118
再保険	62	5
その他の資産	55,516	42,284
前払年金費用	1,614	2,104
繰延税金資産	13,829	-
貸倒引当金	△ 826	△ 784
資産の部合計	7,226,280	7,396,807

期別 科目	2022年度末 要約貸借対照表 (2023年3月31日現在)	2023年度 第3四半期会計期間末 (2023年12月31日現在)
(負債の部)		
保険契約準備金	5,916,509	5,939,677
支払準備金	21,523	20,320
責任準備金	5,830,565	5,847,356
社員配当準備金	64,420	72,000
再保険	46	42
社債	241,935	267,260
その他の負債	204,041	154,285
未払法人税等	101	3,408
リース債務	345	190
資産除去債務	2,328	2,363
その他の負債	201,264	148,323
退職給付引当金	25,951	26,673
価格変動準備金	177,188	179,602
繰延税金負債	-	33,749
再評価に係る繰延税金負債	14,164	14,154
負債の部合計	6,579,836	6,615,446
(純資産の部)		
基金	12,000	12,000
基金償却積立金	116,000	116,000
再評価積立金	112	112
剰余金	126,981	134,621
損失填補準備金	3,463	3,548
その他の剰余金	123,518	131,073
基金償却準備金	7,200	9,600
社員配当平衡積立金	20,000	20,000
価格変動積立金	41,000	41,000
不動産圧縮準備金	205	204
別途準備金	767	767
四半期末処分剰余金	* 54,346	59,502
基金等合計	255,093	262,733
その他有価証券評価差額金	386,882	514,068
土地再評価差額金	4,468	4,557
評価・換算差額等合計	391,350	518,626
純資産の部合計	646,444	781,360
負債及び純資産の部合計	7,226,280	7,396,807

(注) \* 2022年度末要約貸借対照表の四半期末処分剰余金は、当期末処分剰余金を示しております。

## 4. 四半期損益計算書

(単位：百万円)

科 目	期 別	2022年度 第3四半期累計期間 〔 2022年 4月 1日から 2022年12月31日まで 〕	2023年度 第3四半期累計期間 〔 2023年 4月 1日から 2023年12月31日まで 〕
	経 常 収 益		570,783
保 険 料 等 収 入		405,555	372,225
(うち 保 険 料)	(	405,452)	( 372,192 )
資 産 運 用 収 益		153,590	182,644
(うち 利息及び配当金等収入)	(	116,437)	( 116,469 )
(うち 金 銭 の 信 託 運 用 益)	(	—)	( 671 )
(うち 売買目的有価証券運用益)	(	139)	( 675 )
(うち 有 価 証 券 売 却 益)	(	24,951)	( 46,952 )
(うち 為 替 差 益)	(	—)	( 1,351 )
(うち 特別勘定資産運用益)	(	—)	( 14,148 )
そ の 他 経 常 収 益		11,636	9,159
(うち 支 払 備 金 戻 入 額)	(	2,184)	( 1,202 )
(うち 保険金等支払引当金戻入額)	(	3,400)	( — )
経 常 費 用		545,735	514,534
保 険 金 等 支 払 金		391,375	345,969
(うち 保 険 金)	(	112,316)	( 85,173 )
(うち 年 金)	(	113,497)	( 111,589 )
(うち 給 付 金)	(	112,466)	( 89,467 )
(うち 解 約 返 戻 金)	(	35,499)	( 42,420 )
(うち そ の 他 返 戻 金)	(	17,437)	( 17,168 )
責 任 準 備 金 等 繰 入 額		18,843	16,800
責 任 準 備 金 繰 入 額		18,833	16,790
社 員 配 当 金 積 立 利 息 繰 入 額		10	10
資 産 運 用 費 用		49,893	66,116
(うち 支 払 利 息)	(	3,369)	( 3,089 )
(うち 金 銭 の 信 託 運 用 損)	(	311)	( — )
(うち 有 価 証 券 売 却 損)	(	14,519)	( 44,395 )
(うち 有 価 証 券 評 価 損)	(	2,859)	( 695 )
(うち 金 融 派 生 商 品 費 用)	(	8,709)	( 5,067 )
(うち 為 替 差 損)	(	4,340)	( — )
(うち 特別勘定資産運用損)	(	3,514)	( — )
事 業 費 用		67,107	67,570
そ の 他 経 常 費 用		18,515	18,077
経 常 利 益		25,047	49,495
特 別 利 益		56	13
固 定 資 産 等 処 分 益		56	13
特 別 損 失		2,862	7,514
固 定 資 産 等 処 分 損		140	96
減 損 損 失		29	593
価 格 変 動 準 備 金 繰 入 額		2,692	2,414
100 周 年 記 念 賞 与 等		—	4,411
税 引 前 四 半 期 純 剰 余		22,241	41,994
法 人 税 及 び 住 民 税		1,688	7,908
法 人 税 等 調 整 額	△	1,642	△ 1,747
法 人 税 等 合 計		46	6,160
四 半 期 純 剰 余		22,195	35,833



(第3 四半期貸借対照表の注記)

1. 保険業法施行規則第59条の6は、保険業法第111条第6項に規定する保険契約者その他の顧客が当該保険会社及びその子会社等の業務及び財産の状況を知るために参考となるべき事項のうち特に重要なものについて開示する努力をすることを求めています。本四半期財務諸表は、当該努力義務の履行のため、生命保険協会が作成した第1・第3 四半期発表様式モデル(以下「四半期報告モデル」という。)及び我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して作成されております。なお、四半期報告モデルは、前述の努力義務の履行を目的として作成されているため、四半期財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則に定められている開示とは異なっております。
2. 消費貸借契約により貸し付けている有価証券の四半期貸借対照表価額は506,428百万円であります。
3. 社員配当準備金の異動状況は次のとおりであります。

当期首現在高	64,420 百万円
前期剰余金よりの繰入額	28,002 百万円
当第3 四半期累計期間社員配当金支払額	20,432 百万円
利息による増加等	10 百万円
当第3 四半期会計期間末現在高	72,000 百万円

(第3 四半期損益計算書の注記)

1. 当第3 四半期累計期間における減損損失に関する事項は、次のとおりであります。
  - (1) 資産のグルーピング方法  
保険事業の用に供している不動産等については、保険事業全体で一つの資産グループとしております。それ以外の賃貸不動産等及び遊休不動産等については、それぞれの物件ごとに一つの資産グループとしております。
  - (2) 減損損失の認識に至った経緯  
賃料収入の減少や地価の下落により収益性が著しく低下した一部の賃貸不動産等及び遊休不動産等について、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。
  - (3) 減損損失を認識した資産グループと減損損失計上額の固定資産の種類ごとの内訳

①賃貸不動産等	
土地	－百万円
建物等	－百万円
合計	－百万円
②遊休不動産等	
土地	107 百万円
建物等	485 百万円
合計	593 百万円
③合計 (①+②)	
土地	107 百万円
建物等	485 百万円
合計	593 百万円
  - (4) 回収可能価額の算定方法  
回収可能価額は正味売却価額を適用しております。なお、正味売却価額については、鑑定評価額、又は公示価格ないし路線価に基づく評価額を使用しております。

## 5. 経常利益等の明細（基礎利益）

（単位：百万円）

	2022年度 第3四半期累計期間	2023年度 第3四半期累計期間
<b>基礎利益</b> A	<b>19,604</b>	<b>56,941</b>
キャピタル収益	44,202	51,419
金銭の信託運用益	—	585
売買目的有価証券運用益	—	534
有価証券売却益	24,951	46,952
金融派生商品収益	—	—
為替差益	—	1,351
その他キャピタル収益	19,250	1,996
キャピタル費用	31,352	49,158
金銭の信託運用損	426	—
売買目的有価証券運用損	217	—
有価証券売却損	14,519	44,395
有価証券評価損	2,859	695
金融派生商品費用	8,709	5,067
為替差損	4,340	—
その他キャピタル費用	279	△ 999
キャピタル損益	B	2,260
キャピタル損益含み基礎利益	A+B	59,202
臨時収益	3,604	7
再保険収入	—	—
危険準備金戻入額	—	—
個別貸倒引当金戻入額	204	7
その他臨時収益	3,400	—
臨時費用	11,011	9,714
再保険料	—	—
危険準備金繰入額	1,419	780
個別貸倒引当金繰入額	—	—
特定海外債権引当勘定繰入額	—	—
貸付金償却	—	—
その他臨時費用	9,592	8,934
臨時損益	C	△ 9,707
経常利益	A+B+C	49,495

（注）その他項目の内訳は以下のとおりです。

（単位：百万円）

	2022年度 第3四半期累計期間	2023年度 第3四半期累計期間
基礎利益	△ 18,499	△ 2,768
金銭の信託運用損益のうち利息及び配当金等収入に該当する額	114	86
売買目的有価証券運用損益のうち利息及び配当金等収入に該当する額	356	141
為替差損益のうち為替に係るヘッジコスト	△ 7,664	△ 999
利息及び配当金等収入及びその他運用費用のうち投資信託解約損益	279	△ 47
有価証券償還損益のうち為替変動部分	△ 11,586	△ 1,949
その他キャピタル収益	19,250	1,996
為替差損のうち為替に係るヘッジコスト	7,664	—
利息及び配当金等収入及びその他運用費用のうち投資信託解約損益	—	47
有価証券償還損益のうち為替変動部分	11,586	1,949
その他キャピタル費用	279	△ 999
為替差益のうち為替に係るヘッジコスト	—	△ 999
利息及び配当金等収入及びその他運用費用のうち投資信託解約損益	279	—
その他臨時収益	3,400	—
保険金等支払引当金戻入額	3,400	—
その他臨時費用	9,592	8,934
保険業法施行規則第69条第5項に基づく責任準備金の繰入額	9,592	8,934

## 6. ソルベンシー・マージン比率

(単位：百万円)

項 目	2022年度末	2023年度 第3四半期 会計期間末
ソルベンシー・マージン総額 (A)	1, 836, 582	2, 047, 150
基金等	224, 172	238, 132
価格変動準備金	177, 188	179, 602
危険準備金	167, 888	168, 668
一般貸倒引当金	404	374
(その他有価証券評価差額金(税効果控除前)・繰延ヘッジ 損益(税効果控除前))×90%	481, 590	640, 443
土地の含み損益×85%	155, 499	156, 223
全期チルメル式責任準備金相当額超過額	393, 521	397, 351
負債性資本調達手段等	241, 935	267, 260
全期チルメル式責任準備金相当額超過額及び負債性資本 調達手段等のうち、マージンに算入されない額	—	—
控除項目	△ 46, 783	△ 46, 783
その他	41, 164	45, 876
リスクの合計額 $\sqrt{(R_1 + R_8)^2 + (R_2 + R_3 + R_7)^2} + R_4$ (B)	323, 968	368, 160
保険リスク相当額 $R_1$	21, 405	21, 149
第三分野保険の保険リスク相当額 $R_8$	10, 092	10, 130
予定利率リスク相当額 $R_2$	21, 074	20, 326
最低保証リスク相当額 $R_7$	—	—
資産運用リスク相当額 $R_3$	294, 386	338, 667
経営管理リスク相当額 $R_4$	6, 939	7, 805
ソルベンシー・マージン比率 $\frac{(A)}{(1/2) \times (B)} \times 100$	1, 133. 8%	1, 112. 0%

- (注) 1. 2022年度末は、保険業法施行規則第86条、第87条及び平成8年大蔵省告示第50号の規定に基づいて算出しています。2023年度第3四半期会計期間末は、これらの規定に準じて算出しています。
2. 「控除項目」は子会社であるフコクしんらい生命保険株式会社に対する増資額です。

### (参考) 経済価値ベースのソルベンシー比率

項 目	2022年度末	2023年度 第3四半期 会計期間末
経済価値ベースのソルベンシー比率 (E S R)	233. 8%	238. 5%

- (注) 経済価値ベースのソルベンシー比率 (E S R, Economic Solvency Ratio) とは、資産と負債を時価評価したうえで、リスクに対して十分な自己資本が確保できているかを示す保険会社の健全性指標の一つであり、当社では欧州の手法に準拠して算出しています。2023年度第3四半期会計期間末の数値は保険負債やリスクの一部について簡便法を用いて計算しています。

## 7. 特別勘定の状況

### (1) 特別勘定資産残高の状況

(単位：百万円)

区 分	2022年度末		2023年度 第3四半期会計期間末	
	件 数	金 額	件 数	金 額
個人変額保険	—	—	—	—
個人変額年金保険	—	—	—	—
団体年金保険	—	118,783	—	128,419
特別勘定計	—	118,783	—	128,419

### (2) 保有契約高

#### ・個人変額保険

個人変額保険につきましては、販売していません。

#### ・個人変額年金保険

(単位：件、百万円)

区 分	2022年度末		2023年度 第3四半期会計期間末	
	件 数	金 額	件 数	金 額
個人変額年金保険	—	—	—	—
合 計	—	—	—	—

## 8. 保険会社及びその子会社等の状況

### (1) 主要な業務の状況を示す指標

(単位：億円)

項 目	2022年度 第3四半期 連結累計期間	2023年度 第3四半期 連結累計期間
経 常 収 益	7,504	7,883
経 常 利 益	265	537
親会社に帰属する四半期純剰余	226	381
四 半 期 包 括 利 益	△ 2,001	1,704

項 目	2022年度末	2023年度 第3四半期連結会計期間末
総 資 産	88,837	91,569
ソルベンシー・マージン比率	1,171.9%	1,149.1%

### (2) 連結範囲及び持分法の適用に関する事項

連結子会社数	6 社
持分法適用非連結子会社数	0 社
持分法適用関連会社数	0 社

### (3) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	2022年度末 要約連結貸借対照表 (2023年3月31日現在)	2023年度 第3四半期連結会計期間末 (2023年12月31日現在)
(資産の部)		
現金及び預貯金	524,841	517,041
コールローン	130,000	143,000
金銭の信託	25,897	22,981
有価証券	7,321,344	7,619,752
貸付金	527,561	516,083
有形固定資産	247,723	252,023
無形固定資産	28,690	27,312
代理店貸	0	0
再保険貸	83	5
その他資産	61,085	48,938
退職給付に係る資産	1,184	7,009
繰延税金資産	16,131	3,577
貸倒引当金	△ 826	△ 784
資産の部合計	8,883,718	9,156,940

科 目	2022年度末 要約連結貸借対照表 (2023年3月31日現在)	2023年度 第3四半期連結会計期間末 (2023年12月31日現在)
(負債の部)		
保険契約準備金	7,540,406	7,655,132
支払備金	26,326	25,656
責任準備金	7,449,355	7,557,166
社員配当準備金	64,420	72,000
契約者配当準備金	304	309
代理店借	461	579
再保険借	60	53
社債	241,935	267,260
その他負債	208,704	161,124
退職給付に係る負債	25,220	24,147
価格変動準備金	188,538	191,220
繰延税金負債	0	36,752
再評価に係る繰延税金負債	14,164	14,154
負債の部合計	8,219,491	8,350,426
(純資産の部)		
基金償却積立金	12,000	12,000
基金償却積立金	116,000	116,000
再評価積立金	112	112
連結剰余金	133,303	143,297
基金等合計	261,415	271,409
その他有価証券評価差額金	390,148	516,595
土地再評価差額金	4,468	4,557
為替換算調整勘定	△ 58	351
退職給付に係る調整累計額	274	5,456
その他の包括利益累計額合計	394,833	526,961
非支配株主持分	7,977	8,143
純資産の部合計	664,226	806,514
負債及び純資産の部合計	8,883,718	9,156,940

## (4) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

科 目	期 別	2022年度 第3四半期連結累計期間 〔2022年 4月 1日から 2022年12月31日まで〕	2023年度 第3四半期連結累計期間 〔2023年 4月 1日から 2023年12月31日まで〕
	経 常 収 益		750,425
保 険 料 等 収 入		569,546	580,892
資 産 運 用 収 益		167,819	198,056
(うち 利息及び配当金等収入)	(	129,657)	( 131,861)
(うち 金銭の信託運用益)	(	—)	( 671)
(うち 売買目的有価証券運用益)	(	139)	( 675)
(うち 有価証券売却益)	(	25,960)	( 46,971)
(うち 為替差益)	(	—)	( 1,353)
(うち 特別勘定資産運用益)	(	—)	( 14,148)
そ の 他 経 常 収 益		13,059	9,365
(うち 支払備金戻入額)	(	2,447)	( 670)
経 常 費 用		723,915	734,537
保 険 金 等 支 払 金		524,565	463,199
(うち 保 険 金)	(	120,990)	( 94,285)
(うち 年 金)	(	216,751)	( 196,257)
(うち 給 付 金)	(	116,440)	( 92,431)
(うち 解 約 返 戻 金)	(	52,607)	( 62,737)
(うち そ の 他 返 戻 金)	(	17,533)	( 17,267)
責 任 準 備 金 等 繰 入 額		53,073	107,820
責 任 準 備 金 繰 入 額		53,062	107,810
社 員 配 当 金 積 立 利 息 繰 入 額		10	10
契 約 者 配 当 金 積 立 利 息 繰 入 額		0	0
資 産 運 用 費 用		48,917	65,795
(うち 支 払 利 息)	(	3,376)	( 3,102)
(うち 金銭の信託運用損)	(	311)	( —)
(うち 有価証券売却損)	(	14,519)	( 45,137)
(うち 有価証券評価損)	(	2,859)	( 695)
(うち 金融派生商品費用)	(	8,709)	( 5,067)
(うち 為替差損)	(	4,341)	( —)
(うち 特別勘定資産運用損)	(	3,514)	( —)
事 業 費		74,739	76,716
そ の 他 経 常 費 用		22,618	21,004
経 常 利 益		26,510	53,777
特 別 利 益		56	13
固 定 資 産 等 処 分 益		56	13
特 別 損 失		3,105	7,762
固 定 資 産 等 処 分 損		144	87
減 損 損 失		29	593
価 格 変 動 準 備 金 繰 入 額		2,931	2,682
100 周 年 記 念 賞 与 等		—	4,399
契 約 者 配 当 準 備 金 繰 入 額		148	145
税 金 等 調 整 前 四 半 期 純 剰 余		23,312	45,884
法 人 税 及 び 住 民 税 等		2,186	9,143
法 人 税 等 調 整 額		△ 1,546	△ 1,714
法 人 税 等 合 計		640	7,429
四 半 期 純 剰 余		22,672	38,455
非支配株主に帰属する四半期純剰余		56	267
親会社に帰属する四半期純剰余		22,616	38,187

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

科 目	期 別	2022年度	2023年度
		第3四半期連結累計期間 〔2022年4月1日から 2022年12月31日まで〕	第3四半期連結累計期間 〔2023年4月1日から 2023年12月31日まで〕
四 半 期 純 剰 余		22,672	38,455
そ の 他 の 包 括 利 益		△ 222,809	131,952
そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金		△ 223,611	126,361
為 替 換 算 調 整 勘 定		382	409
退 職 給 付 に 係 る 調 整 額		420	5,181
四 半 期 包 括 利 益		△ 200,137	170,407
親 会 社 に 係 る 四 半 期 包 括 利 益		△ 199,622	170,226
非 支 配 株 主 に 係 る 四 半 期 包 括 利 益		△ 515	181



(第3 四半期連結貸借対照表の注記)

1. 保険業法施行規則第59条の6は、保険業法第111条第6項に規定する保険契約者その他の顧客が当該保険会社及びその子会社等の業務及び財産の状況を知るために参考となるべき事項のうち特に重要なものについて開示する努力をすることを求めています。本四半期連結財務諸表は、当該努力義務の履行のため、生命保険協会が作成した第1・第3 四半期発表様式モデル(以下「四半期報告モデル」という。)及び我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して作成されております。なお、四半期報告モデルは、前述の努力義務の履行を目的として作成されているため、四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則に定められている開示とは異なっております。
2. 消費貸借契約により貸し付けている有価証券の四半期連結貸借対照表価額は506,428百万円であります。
3. 社員配当準備金の異動状況は次のとおりであります。

当連結会計期間期首現在高	64,420 百万円
前連結会計年度剰余金よりの繰入額	28,002 百万円
当第3 四半期連結累計期間社員配当金支払額	20,432 百万円
利息による増加等	10 百万円
当第3 四半期連結会計期間末現在高	72,000 百万円
4. 契約者配当準備金の異動状況は次のとおりであります。

当連結会計期間期首現在高	304 百万円
当第3 四半期連結累計期間契約者配当金支払額	140 百万円
利息による増加等	0 百万円
契約者配当準備金繰入額	145 百万円
当第3 四半期連結会計期間末現在高	309 百万円

(第3四半期連結損益計算書の注記)

1. 当第3四半期連結累計期間における減損損失に関する事項は、次のとおりであります。

(1) 資産のグルーピング方法

保険事業の用に供している不動産等については、保険事業全体で一つの資産グループとしております。それ以外の賃貸不動産等及び遊休不動産等については、それぞれの物件ごとに一つの資産グループとしております。

(2) 減損損失の認識に至った経緯

賃料収入の減少や地価の下落により収益性が著しく低下した一部の賃貸不動産等及び遊休不動産等について、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。

(3) 減損損失を認識した資産グループと減損損失計上額の固定資産の種類ごとの内訳

① 賃貸不動産等

土地	一百万円
建物等	一百万円
合計	一百万円

② 遊休不動産等

土地	107 百万円
建物等	485 百万円
合計	593 百万円

③ 合計 (①+②)

土地	107 百万円
建物等	485 百万円
合計	593 百万円

(4) 回収可能価額の算定方法

回収可能価額は正味売却価額を適用しております。なお、正味売却価額については、鑑定評価額、又は公示価格ないし路線価に基づく評価額を使用しております。

2. 当第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(賃貸用不動産等減価償却費を含む)は12,084百万円であります。

## (5) 連結ソルベンシー・マージン比率

(単位：百万円)

項 目	2022年度末	2023年度 第3四半期 連結会計期間末
ソルベンシー・マージン総額 (A)	1,923,471	2,144,373
基金等	238,663	255,150
価格変動準備金	188,538	191,220
危険準備金	170,512	171,486
異常危険準備金	—	—
一般貸倒引当金	404	374
(その他有価証券評価差額金(税効果控除前)・繰延ヘッジ損益(税効果控除前))×90%	486,289	644,272
土地の含み損益×85%	155,499	156,223
未認識数理計算上の差異及び未認識過去勤務費用の合計額	381	7,578
全期チルメル式責任準備金相当額超過額	395,807	399,695
負債性資本調達手段等	241,935	267,260
全期チルメル式責任準備金相当額超過額及び負債性資本調達手段等のうち、マージンに算入されない額	—	—
控除項目	—	—
その他	45,439	51,110
リスクの合計額 $\sqrt{(\sqrt{R_1^2+R_5^2+R_8+R_9})^2+(R_2+R_3+R_7)^2+R_4+R_6}$ (B)	328,259	373,204
保険リスク相当額 $R_1$	21,801	21,541
一般保険リスク相当額 $R_5$	—	—
巨大災害リスク相当額 $R_6$	—	—
第三分野保険の保険リスク相当額 $R_8$	10,241	10,282
少額短期保険業者の保険リスク相当額 $R_9$	—	—
予定利率リスク相当額 $R_2$	21,398	20,656
最低保証リスク相当額 $R_7$	—	—
資産運用リスク相当額 $R_3$	298,225	343,243
経営管理リスク相当額 $R_4$	7,033	7,914
ソルベンシー・マージン比率 $\frac{(A)}{(1/2) \times (B)} \times 100$	1,171.9%	1,149.1%

(注) 2022年度末は、保険業法施行規則第86条の2、第88条及び平成23年金融庁告示第23号の規定に基づいて算出しています。2023年度第3四半期連結会計期間末は、これらの規定に準じて算出しています。

## (参考) 経済価値ベースのソルベンシー比率 (連結)

項 目	2022年度末	2023年度 第3四半期 連結会計期間末
経済価値ベースのソルベンシー比率 (E S R)	245.2%	248.7%

(注) 経済価値ベースのソルベンシー比率 (E S R、Economic Solvency Ratio) とは、資産と負債を時価評価したうえで、リスクに対して十分な自己資本が確保できているかを示す保険会社の健全性指標の一つであり、当社では欧州の手法に準拠して算出しています。2023年度第3四半期連結会計期間末の数値は保険負債やリスクの一部について簡便法を用いて計算しています。

#### (6) セグメント情報

当社及び連結子会社は、生命保険事業以外に国内にて投資運用事業及び投資助言事業、システム開発事業、海外にて投資運用事業及び投資助言事業等を営んでいますが、当該事業の全セグメントに占める割合が僅少であるため、セグメント情報及び関連情報の記載を省略しています。